



NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース

3月号(通算262号)
2019年(平成31年)3月1日発行

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会
理事長 川上 浩
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29
(瓦町ウエビル4F)
Tel & Fax : 072-233-0531
e-mail : sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL : <http://sakai-kanbora.org/>

「堺から仏教を変えた行基さん」
公開講演会を開催しました。
会場は行基菩薩の愛に包まれたように

2月20日(水)前日の大雨から一転、晴天に恵まれ、温かい日になりました。行基さんのお蔭かな、というほど講演会日和の一日でした。去年が行基生誕1350年、この年度内に是非、行基さんの講演会を開きたいという思いで、企画から約8か月、私たち担当者はこの日まで準備を進めてきました。お蔭さまで当日は、堺市内外から大勢のお客様、そして協会員、スタッフを含め約300名が参加しての公開講演会となりました。

第1部の講演は、奈良市菅原町の行基ゆかりの寺・喜光寺より、高次喜勝副住職を講師に迎え、「堺から仏教を変えた行基さん」のテーマで講演頂きました。判りやすく良く通る声で、時々笑いも交えながらお話をしてくださいました。行基さんの業績を資料を見ながら、そして年表からも、具体的に判りやすく教えてくださいました。

堺市の家原寺、又は華林寺(ケイリンジ)あたりに生まれた行基さんですが、40歳ごろから生駒山仙房でお母様の介護をされます。そのことから後の生き方を決定づけたのではないかと、という講師さんの言葉に思わず胸の中、目の中も熱くなりました。行基さんの原点はお母様だったのです。「山鳥のほろほろと鳴く声きけば 父かとぞ思ふ 母かとぞ思ふ」昨年、喜光寺の帰りに行基さんのお墓がある竹林寺を訪ねた時、この和歌を読み、行基さんはここに居る、と実感したことを思い出しました。「百石(ももさか)に八十石(やそさか) そえて 賜ひてし 乳房のむくい 今日ぞ我する」お母様の亡くなられた後に、行基さんの本格的な土木事業が始まっていくのです。民衆の行基さんに対する心からの思いが、「行基様」「行基菩薩」と呼ばれるようになった由縁です。



高次さんはフットワーク軽く、各地で法話会を開催し、わかりやすい仏教のお話を伝えておられます。去年の10月には奈良春日大社境内の飛火野(トビヒノ)で、大イベント「行基大感謝祭」の実行委員長を務められました。講演会の始めに、行基座像を東大寺までお連れしている映像が映し出されると、素晴らしい発想と実行力にこの会場から「おー!」と、声があがりました。いつか堺の土塔町公園でも何か出来ないものだろうか、と以前から講師さんとの会話で話題に上がっていました。

第2部は、高次さんと堺市文化財課の近藤康司学芸員に加わって頂き、当協会の柿澤会員がコーディネーターを務めてのパネルディスカッション「堺のど真ん中で行基を語る」を行いました。近藤学芸員は史跡土塔の研究者で、今回の企画もすぐに快諾して頂きました。事前の打ち合わせでお二人のパネラーは「何でも聞いてください」の言葉通り、どんな質問にも明快にお話され、会場の皆さん、聞き入っておられたようでした。用意して頂いた資料が充実していたこと、去年から引き続いて手話通訳と要約筆記を取り入れた事は、終了後のアンケートでも高評価を得ており、担当者として嬉しく思います。

今回の講演会は、華林寺地区在住の会員を司会者に、行基さんの紙芝居の作者をコーディネーターに、行基ファンの正副理事長に挨拶を、そして地元で行基さんの事をもっと盛り上げようとするスタッフ一同、全員の力で開催することが出来ました。この公開講演会に携わってくださった全ての皆様と、参加して頂いたお客様に心から感謝申し上げます。そして堺では、これからがスタートです。

(広報部・長江幸代)

特集：堺の伝統産業を紡ぐ

堺の伝統産業を紹介するコーナー、今回紹介する伝統産業は「昆布」です。

「昆布や鰹ぶしでとった薄味は関西の食卓には欠かせないものであり、煮込み汁のような関東のうどんは辛くて食べられたものではない。」と食通は話します。

中世以降、「昆布ロード」を経て堺に届けられた北海道松前の「昆布」が堺の職人の手で加工され、日本の食卓をそして堺の経済を潤したように思われます。

昆布加工技術を後世に伝えるため日々新たな挑戦をしておられる堺昆布加工業協同組合の郷田光伸さんに、伝統産業を守るためのご苦労をお聞かせいただきます。

☆ 堺の伝統産業・手すきおぼろ昆布

【 堺昆布加工業協同組合 郷田 光伸 】

日本人の食生活に欠かせない昆布。北海道で収穫された昆布は、当初日本海を通って敦賀・小浜まで海路で運ばれ、そこから鯖街道を通して陸路で京都に、さらに淀川を下って大坂へ運ばれていました。江戸時代になると北前船が登場し下関をぐるりと回って瀬戸内海を渡り、直接大坂、堺へ運ばれるようになりました。

昆布の一大消費地である大坂にほど近く商人の町である堺では、北海道から運ばれた昆布を使って佃煮や酢昆布などさまざまな加工品が作られるようになりましたが、なかでも堺には刃物の技術があったため、特殊な包丁を使って削る、手すきのおぼろ昆布やとろろ昆布の加工が盛んになりました。昆布と包丁があれば手軽に始められる仕事として手すき昆布の加工業は急速に発達し、最盛期の大正から昭和初期には140～150軒の昆布加工業者が軒を連ねていたそうです。



昆布の酢漬けから
郷田 光伸 氏

北海道の昆布を原料に堺の刃物と職人の技術で削り上げられたおぼろ昆布は、「こぶうどん」などに使われ庶民の味として親しまれてきました。またおぼろ昆布を削ったあとに残る芯の部分は、白板昆布としてバッテラ寿司の上にのせたり、お正月の鏡餅にお飾りとして使われます。このような上方の食文化は堺の昆布手加工が支えてきたのです。

⇒ 次ページへ つづく

☆ 3月号 インデックス（目次）

巻頭言「公開講演会」	P 1	定点ガイド部	P 9
特 集「手すきおぼろ昆布」	2	広報部・インフォメーション・ガイド MEMO 他	11
<各部ニュース>		〔ガイド実施報告（小学校・VRも）〕	13
事務局	3	《あらかると》・ガイド豆知識	16
総務部	4	《トピックス》「喜光寺を訪ねて」	17
研修部	5	【平成31年3月度月間予定表】	18
事業部	5	〔平成31年1月 活動実績と内容〕	19
ツアーガイド部	6		
企画部	8		

このようにかつては全国最大規模の昆布手加工の町であった堺ですが、戦火に見舞われその多くが焼失し、また戦後の高度成長期にはさまざまな産業にとって代われ、手すき昆布の加工業者は激減していきました。現在は堺昆布加工業協同組合員が8社、なかでも手すき加工を行っている業者はわずか3社となっており、職人の数も10名程度にまで減っています。

また、原料である北海道産の昆布も地球温暖化の影響で海水温が上昇したことにより以前のように育たなくなってきました。このような環境の変化に加え、漁業従事者も後継者不足で年々減少しており、北海道産昆布の生産量は20年前の半分程度まで落ち込んでおり、価格も高騰を続けています。

このように後継者不足、原料昆布の減少・価格の高騰、食生活の変化による需要の落ち込みなど、昆布加工業にとっては逆風が吹きすさぶ状況ですが、残っている我々加工業者は、若手職人の育成や工場見学・手すき体験の事業化などに取り組み、伝統の食文化をなんとか後世に伝えていこうと日々努力を続けています。中でもなにより重要なことは、北海道の昆布と堺刃物の技術が融合して生まれた「おぼろ昆布」を、国内外の多くの人に知ってもらうことだと思いますので、今後もさまざまな場面で紹介いただければ幸いです。

事務局ニュース

*** 理事会・運営委員会報告**

平成31年2月4日(月)堺市総合福祉会館に於いて、13時15分から理事会、14時から運営委員会を開催しました。

*** 理事長報告**

① 協会ニュース記事に対するサイン発生

発行された協会ニュース記事の一部について、不適切な個所の指摘が外部からありました。紙で発行した分はそのままにして、ホームページの当該箇所は削除しました。不適切な記事というのは、協会外の個人が特定できるような内容でした。注意が必要です。

② 大阪検定との連携についての話し合いについて

当協会と連携したいという申し出がありました。堺市は既に連携団体になっています。利点・マイナス点は色々ありますので部長会で検討して理事会に諮ることになるかもしれません。

③ インバウンド対象ツアーに対するガイドについて

「堺チン電の会」が橋渡しして新今宮のインバウンド対象ホテルからの依頼で阪堺線沿線観光の準備が進んでいます。言語は英語です。

④ 飛鳥Ⅱ寄港対応の件

4月10日(水)大浜埠頭に着き、堺市内をタクシーで案内。また、ヘリコプターで百舌鳥・古市古墳群を上空から案内するツアーが実施される予定です。

*** 事務局**

2月の定点配置の状況

配置状況 欠員数：54人 去年は36人

2/4は20数ヵ所欠員。2/17、2/20(堺市の古墳関連の講演会・協会主催の公開講演会)の影響が大きい。

① **春の文化財特別公開が決まりました**

テーマ：「春爛漫 さかい旅」

期 間：3月29日（金）30日（土）31日（日） ※ 昨年は4月度に実施

初公開：紅谷庵（堺区）・法雲寺（美原区）

② **理事会（2月4日開催）の報告**

議事内容は以下の通りです。

（決議事項）

A 平成30年度予備費の使用を承認の件

平成30年度の新年祝賀会（親睦慶弔費）が予算を超過しましたので予備費の780千円の適用を承認。

B 本会議の議事録署名人を選任の件

本会議の議事録署名人として、藤井英樹氏と松浦和男氏の2名が選任。

（報告事項）

C 「大阪・奈良歴史街道リレーウォーク実行委員会」委員長に木村義穂副理事長が就任。

D 「広域連携歴史探訪ガイドウォーク実行委員会」会長に岡崎形成会員が就任。

E 前田暁彦木彫展～Spirits of Japan～さかい春の陣～に協力する件

※ 運営委員会における各部からの活動報告については、各部門のニュース欄を参照願います。

各部門からの連絡・報告

各部門からのニュースを、参照願います。

総務部ニュース

*** 会員の状況**

2月は、正会員の堀畑英子さん（H30年11月入会）と堀畑孝子さん（H30年11月入会）の2名が退会されました。

この結果、3月1日現在の正会員数は245名、休会会員数は7名、賛助会員数は7名となり、総会員数が259名です。

*** 「4月活動予定表」で4月以降の会員の継続可否などの問い合わせをします**

「4月活動予定表」で4月以降の会員の継続などの問い合わせをします。

ご自身の該当欄に“○”を記入して提出をお願いします。

なお、提出が無い場合は退会とみなす場合が有りますので必ず提出をお願いします。

*** 平成31年春季特別公開に参加のお願い**

春季特別公開が3月29日（金）～3月31日（日）に開催されます。

この期間のみなさまの積極的な活動参加をお願いいたします。

*** 交通費の振り込みの連絡**

1月と2月の交通費を3月20日までに各人の銀行口座に振り込みを行います。

研修部ニュース

* 全体研修会「百舌鳥古墳群の魅力を語る」を実施します

本年度第2回目の全体研修会「百舌鳥古墳群の魅力を語る」を実施します。

講師は、堺市博物館学芸課長の白神典之氏。3月5日(火)と20日(水)のいずれも午後2時～4時過ぎの予定。場所は、堺市博物館地下ホールです。

百舌鳥古市古墳群が世界文化遺産に登録される気運がたかまっていますので、全国各地や世界中から来られる多くのお客さまに、大いに百舌鳥古墳群の魅力を語っていただけるように企画しました。

なお、申し込みされた方は、お忘れなくご参加いただくようよろしくお願いします。

5月には、元藤井寺市文化財課の天野末喜氏に「古市古墳群の魅力を語る」をお話いただく予定です。ご期待下さい。

* 28期生対象の入会後定点実地研修を終了。3月からは定点活動箇所が増加

28期生は2月に、大仙、展望ロビー以外の6カ所の定点活動の実地研修を行いました。

3月からは、いよいよ、他の定点でも活動開始となります。

* 「29期生募集の協会HPでの告知」を開始しました。募集案内チラシの配布にご協力を

5月から行う29期生・堺観光ボランティアガイド入門講座の募集について、2月から協会HPに募集要項、実施要項を掲載しています。募集チラシはすでに市役所、観光関連施設、図書館等に配架しています。

協会員の皆さまには、今月のニュースに3枚同封していますので、ご興味をお持ちの方々への配布、PRをよろしくお願いします。

事業部ニュース

* 各プロジェクトの活動

(華美芝居部隊)

- ・2月23日(土) 妙國寺「堺事件を語り継ぐ会」にて、新作「五代友厚が見た堺事件」の華美芝居を公演しました。
- ・3月23日(土)・24日(日)
大仙公園いこいの広場「前田暁彦木彫展」にて、両日華美芝居を公演します。
- ・3月26日(火) 錦校区地域会館で華美芝居を公演します。

(JA堺市「CROP」)

- ・2月8日(金) 北区中村町取材しました。
- ・3月11日(月) 東区日置荘西町取材します。

(呈茶チーム)

- ・3月24日(日) 利晶の杜4周年呈茶 山之口商店街
20名限定で呈茶のおもてなし(外国人のお客様大歓迎です)

(鉄砲鍛冶屋敷調査)

・2月7日(木)・14日(木) 主屋2階奥部屋

雛人形・市松人形等、大峰講の道具類、
三方大小多数、提灯等

ツアーガイド部ニュース***「阪堺電車勉強会」を行いました**

1月29日(火) さかい利品の杜に集合して、阪堺電車の寺地町まで歩き、開通当初の阪堺軌道の痕跡を辿り、電車で神明町に移動し、座学で阪堺電車について勉強しました。

18名参加しました。

◇「阪堺線勉強会」に参加して**【 林 徳雄 】**

1月29日(火)に開催されました「阪堺線勉強会」に参加しました。阪堺電車には15年位前に一度乗車した経験があるだけで、今回の勉強会に何の予備知識もなく参加しましたので、学んだ事は全てが新鮮でした。

「堺チン電の会」の井溪明さんのご案内で、まず利品の杜(宿院)を出発し、阪堺線沿いに南へ寺地町方面へ向かいました。丁度、宿院駅と寺地町駅との中間あたりに「明治天皇行在所舊跡」との石碑がありました。これは明治10年明治天皇が堺へ行幸された時に宿泊された場所との解説がありました。この場所は阪堺軌道敷設の際、邸の一部が取り壊され、軌道内に石碑が残されているとのこと。電車軌道の敷地は昔はもっと狭く西側の住居等を撤去し現在の広さにしたとの説明もありました。

次に、北に向かうため寺地町駅より綾ノ町駅までチン電に乗車しましたが、この車両が幸いなことに最新の車両である「堺トラム」でした。綾ノ町駅では、浜寺駅前へ向かう側の駅舎の屋根が少し違った形をしている理由の説明があり、「なるほど」と納得しました。

それから、徒歩で少し南へ下り神明町駅近くで会社を経営されている(株)福井さんの会議室をお借りして、阪堺線の歴史等をNPO法人RADA大阪・堺の野木義弘さんから勉強しました。スライドには貴重な映像が多くあり、特に画家の岸谷勢蔵さんが描かれた色々な阪堺線沿いの街並みは非常に印象的でした。

阪堺線は、近年乗車人口は若干回復している上、貸切電車を運行したり様々な経営努力をされているとは言え、堺市より資金援助を受けており経営的には苦しい状況であるとの説明もありました。阪堺電車沿いには堺の歴史・文化施設が多くあり、貴重な観光資源でもあります。

今後、ガイドをする際には、定点・ツアーガイドを問わず積極的に阪堺電車(チン電)のPRに努めたいと思います。

***「2月の自転車ツアー」を行いました**

2月11日(月) 大仙観光案内所集合、9時に出発し、古墳群めぐりを行いました。
参加者は、3名でした。

***「ぐるっと堺勉強会」を行いました**

2月12日(火) 9:30 「かに道楽前」集合で、バス案内の勉強会を行いました。
午前中にクリーンセンター臨海工場とJグリーン堺、午後からバスの中で交代で堺の町の案内をしました。櫻井神社を拝観し、多治速比売神社では禰宜さんから説明をして頂きました。
28名参加されました。

◇ 「ぐるっと堺勉強会」に参加して

【古川 邦敏】

2019年2月12日(火)、ツアーガイド部主催『ぐるっと堺勉強会』は貸切バスを利用して開催され、28名の会員が参加しました。

9時40分、堺東かに道楽前をスタート。最初に車中では、6期・弘瀬氏による「バスガイドの心得」を聞かせて頂きました。

- ・服装、身だしなみのチェックをしっかりとすること。
- ・集合時間より30分前には到着、準備すること。
- ・お客さまへ「ようこそ堺へいらっしゃいました」の気持ちで接すること。
- ・マニュアルを読むようではダメ、お客様のお顔を見て話をする事。
- ・バス走行中、当該地点より前を走行中に案内する。地点に来てからでは遅い。

等々、全てがガイドとしてだけでなく社会人としても、改めて心に留めるべきことばかりでした。

コースの最初は「堺市クリーンセンター」。ビデオ視聴のあと、1日450トンもの処理能力を持つ廃棄物処理施設の見学をしました。次に、「J-GREEN堺」に移動。サッカー場に入って、芝生の感触を楽しみながら現地スタッフによる施設の説明を聞くと、市役所展望ロビーから見る「J-GREEN」の景色が、ぐんと身近な感覚になりました。

昼食後、移動の車中では、先輩諸氏による沿線の史跡や見どころ、有名な工場、阪堺電車の話に至るまで、お客様に楽しんでもらえるガイドの実践を見せていただきました。

バスを降りて堺市南区の「櫻井神社」見学です。ツアーガイド部員による神社の歴史や堺市唯一の国宝「割り拝殿」などについて説明を聞き、最後に「多治速比売神社」では、禰宜さまから神社創建以来の歴史、本殿の様式や各部について、詳しく説明していただきました。



今回の研修は初めて行くところばかりで、今後のガイド活動にきっと活かせることと思います。諸先輩の温かくも厳しいご指導も受けることができ、充実した一日でした。

* 「第29回堺新発見ツアー」を行います

3月7日(木) 泉北高速深井駅集合 10時に出発します。

郷土が生んだ奈良時代の高僧「行基」の足跡を辿る第2弾です。

参加者を募集しています。

* 「3月の自転車ツアー」を行います

3月10日(日) 堺駅観光案内所集合、9時出発します。堺七まちのひな飾りをめぐります。

* 毎週日曜日に実施の「JR百舌鳥古墳群巡り」に参加を

このコースは、古墳巡りとしては一般のコースなので、会員は必ずコースを覚えて下さい。今後、世界遺産登録になればお客様をご案内する機会もありますので、このコースを知らない人や、復習の為に是非参加して勉強して下さい。

- ・実施日時：毎週日曜日 10:30にスタート
- ・集合場所：JR百舌鳥駅西口改札前
- ・コース：百舌鳥駅→御廟山古墳→いたすけ古墳→履中天皇陵古墳→平成の森展望台→旗塚古墳→グワショウ坊古墳→仁徳天皇陵古墳

☆ ガイドに役立つ本「むかしの堺」の紹介です

堺の歴史、文化、寺社、人物等、さまざまな堺の昔が発見できる本です。ツアーガイドの折にも、定点に入った時にもきっと役に立つ一冊になります。

この本を、ツアーガイド部に置いておきますので、ご覧になりたい方はぜひまでお越しください。

※ 購入の方は、あかがね印刷出版 (072-228-1645) に問い合わせ下さい。1冊 1,600 円。

★ 平成 31 年 1 月度ツアーガイド実施報告

○ 総件数 20 件 / 案内の総人数 221 人 / 派遣ガイドの総人数 21 人

※「ガイド実施報告」「VR体験ツアー実施報告」の掲載について

今月号は、P13～15に掲載していますので、ご覧ください。

企画部ニュース

* 広域連携関連

① 南海・歴史探訪ガイドウォーク

1月18日(金)に広域連携ガイドウォーク実行委員会が開催され、2019年度の新会長に当協会の岡崎形成氏が推挙されました。実行委員会事務局は引き続き大阪狭山市市民活動センター内に置きます。2月19日開催の実行委員会にて残りの実行委員会メンバーが選任されました。

② 大阪・奈良歴史街道リレーウォーク

12月25日(火)に実行委員会開催され、2019年度の新委員長に当協会の副理事長 木村義穂氏が推挙されました。

③ 大東市関連

1月12日(土)に「三好長慶&飯盛城 市民サポート養成講座」が開催されました。講師派遣の要請を受け当協会の小川正夫氏が(1)堺観光ボランティア協会の歴史、(2)堺が三好一族を観光コンテンツとして取り入れた経緯、(3)堺の遺跡巡り等の講義をしました。参加者は四条畷市の観光ボランティアガイドも含め20名でした。120分の講義でした。(2月号協会ニュースに掲載済)

④ 大阪信用金庫 100 周年記念チャリティーウォーク

3月23日(土)、「大阪信用金庫×大阪ミュージアム チャリティー歴史&健康ウォーク」が開催されます。

- ・北コース：竹内街道と百舌鳥古墳群 約10km。
- ・中コース：西高野街道と百舌鳥古墳群 約9.7km。
- ・西コース：紀州街道と利休・晶子 約10km。

※当協会は、定点ガイド6ヶ所定点を担当します。全体で18名が定点配置に付きます。

定点ガイド部ニュース

*** さかい利晶の杜で企画展「与謝野晶子の満蒙旅行」が開催されています**

さかい利晶の杜で2月20日(水)～3月24日(日)企画展「与謝野晶子の満蒙旅行～初公開書簡を中心に～」が開催されています。

本企画展では、与謝野寛・晶子夫妻が南満州鉄道株式会社の社員に宛てた書簡をはじめ、与謝野夫妻自筆の歌掛軸や短冊などの初公開資料が展示されています。

また、満蒙旅行で撮影された写真や満鉄関係資料なども合わせて展示されています。

*** 自転車博物館特別展「アメリカ自転車」勉強会開催のお知らせ**

4月18日(木) 10:00～12:00 自転車博物館サイクルセンターにおいて、2019年度特別展「アメリカ自転車」の勉強会を開催します。対象は、自転車博物館研修を受講済の人です。

この特別展では、アメリカ文化を背景に生まれたBMXやビーチクルーザーなど約10台の自転車が展示されます。

受講ご希望の方は、4月活動予定表に「○」印をつけ、オフィスに提出をお願いします。当日は制服・名札着用です。

尚、定点配置に支障が出るようであれば調整させていただきますので、ご了承ください。

*** 2月13日(水) 全体部会を行いました**

下記は、各定点の1月の「日誌」から抜粋したものを掲載しています。

Aグループ(川上由)

*** 堺市役所21階展望ロビー(担当:平野・大北・南野)**

・徳島県から観光客24名。二人で手分けして案内。古市古墳群をまわってきておられ、仁徳天皇陵古墳に行かれる。土産物についていろいろ質問がありました。

・仁徳天皇陵古墳の西側の木が白く見える。台風の影響か?

⇒ 宮内庁職員の方の話では、カワウとサギの糞で6月雨の多い梅雨時には自然に流れ落ちるようです。

*** 堺駅観光案内所(担当:重永)**

・蘇鉄山の下で4人グループに声をかけられ、堺事件碑、天誅組上陸碑、神明神社、千利休屋敷跡、開口神社へと案内し、大変喜んで頂きました。

⇒ 西コースと東コースを上手く組み合わせていいミニツアーになったと思います。

・14時過ぎに堺駅観光案内所2階に愛知からの30才台と思われる女性が来られ、利休ゆかりの場所として、開口神社、利休屋敷跡、南宗寺へ行きたいとのことで、開口神社へご案内しました。ミニツアーコースにある、防空壕、晶子生家跡は省略し、南宗寺へ15時ぐらいに到着してもらうため、利休屋敷跡は場所だけ示して、阪堺電車の宿院乗り場までご案内しました。「楽しかった」と言われました。

*** 大仙公園観光案内所(担当:川上由・堀・江川信)**

・80代の男性。ミニツアーの三国ヶ丘庁舎では仁徳天皇陵古墳の大きさに驚いておられました。静岡で4年間観光ボランティアをされていたそうで、その様子などの話を聞きました。歩きが一番だそうです。

・埼玉県よりの徒歩で日本一周をされている男性。北海道、沖縄も完歩している。「日本一周に

堺の仁徳天皇陵古墳もコースに入れました。」との事。

- ・70代で大阪女子大に勤務していた近隣の男性。小学生の頃、濠を裸で泳いで、先生から怒られた思い出があると話されていました。

Bグループ (戒田 啓二)

* さかい利晶の杜 (担当: 松村・柳)

- ・近隣の男性。無料ゾーンの見学という事でした。大絵図の案内を熱心に聞いて下さり、オルテリウスの地図はクイズの様で楽しいと喜んで頂きました。
- ・納屋衆の子孫の方がいらっしゃいました。堺の昔話をされていました。昭和53年の「黄金の日々」の時にNHKから取材を受けたそうです。
- ・デイサービス利用の方。こんなに楽しいところに連れて来てもらったと大変喜んでおられました。

* 千利休屋敷跡 (担当: 辻・梅影・林マ)

- ・大阪市からの女性。寒い中よく話を聞いてくれました。三國連太郎演じる利休の映画を見て、千利休に関心を持つようになったそうです。(1989年 三國連太郎主演「利休」)
- ・福岡市から一人で来ました。「堺が好きになったので、年2、3回は観光に来ている」と言っておられた。
- ・ハワイ在住の裏千家の教授。一時帰国したので利休屋敷跡に来ましたとのこと。こちらの方が逆に利休さんやお茶の話を色々聞かせていただきました。

* 山口家住宅 (担当: 今村・西岡英)

- ・1月27日(日)堺市人権推進課主催の「第2回多文化共生楽習会」が開催されました。チョゴリと着物の違いと魅力というテーマで着付け体験や講演・文化体験(演奏)が実施されました。来館された台湾からの男女もチョゴリ姿の子供たちが大勢演奏の準備をされていて驚かしていました。
- ・堺市内からの5名。内男女各一名がインドネシアの留学生。日本に来て2ヵ月ほど。南宗寺、伝統産業会館などを廻って来たとの事。
- ・大阪平野区からの女性一人。カメラを持って、通りすがりに入る。「べたべたと説明が貼っていないのいい」と言っておられた。

* 清学院 (担当: 澤井・林茂・佐野)

- ・昔堺に住んでおられて現在能勢在住の男性。10年ほど前に少林寺が文化財公開された話をした。今日はじっくり堺を見て廻る。珍しく小西行長生家跡の場所を聞かれ、天誅組上陸碑、土佐十一烈士碑にも行くという事で、地図で案内しようとしたが、堺観光ガイドブックの日本語版がなくなっていた。切らさないようにしてほしい。
- ・市内からの夫婦。山口家住宅との共通券を購入したので立ち寄ったとのこと。以前にも訪問しており慧海さんのことも知っていたが今回興味が強く湧き「チベット旅行記」を読もうと言っておられた。
- ・千葉からのご夫婦。歩いて市内を散策。昨日は姫路城を見学。堺で他の見所を聞かれ、歩いていける所として山口家住宅、妙國寺、高速道路に沿った寺院を紹介した。

Cグループ (上野 数男)

* 南宗寺 (担当: 中西慎・澤野・大橋)

- ・茨城県水戸市からの男性。家康の墓で「塚原さん、岩上さんと懐かしい名前を見てびっくりした。この石は茨城県笠間の石かも知れない。」と言われていました。
⇒ 岡山県笠岡白石島の白石山の赤御影石という説もあります。
- ・京都から堺に引越してきた女性。お寺巡りが好きな方で京都の大体のお寺は廻ったとのこと。文化財公開には大安寺も訪れたいし、今後堺の各寺を廻りたいとのこと。
- ・後から追いついた男性がカメラと三脚を持参されたので撮影禁止をお伝えし了解頂いた。

*** 妙國寺（担当：小出・箕野）**

- ・久米田からの中年の男女3人。歴史に非常に詳しい方が、次の通り解説して下さい。
(1) 伊達政宗公真蹟の掛け軸の鳥は、セキレイ。
(2) 光輝公真筆の掛け軸に、守覚法親王（しゅかくほうしんのう）と書かれている。この人物は、御室仁和寺の僧で後白河天皇の第二子。兄は高倉天皇で、その子の安徳天皇は源平合戦で敗れた為、母の建礼門院と共に8歳の時に壇の浦で入水し、山口県下関市の赤間神社に祀られていると話された。
- ・藤井寺と松原からの拝観者。本能寺の変の時に徳川家康が、この寺院に滞在していた事に驚かれ、ひともとの株を見て良かったと感動された。
- ・神戸からのご夫婦と娘さん、地元材木町のお母さんと僕ちゃんが、大蘇鉄にビックリされ枯山水の庭園にも感動で一枚ガラスにため息でした。宝物資料室もじっくり見学されました。

*** 堺伝統産業会館（担当：奥野）**

- ・ドイツ人男性。日本には2回目で、堺には2泊3日の観光予定で、刃物技術に最も興味がある様子。「ドイツにはゾーリンゲン刃物があるが、堺の包丁も素晴らしい」。
- ・大阪市の高齢男性。永平寺のお寺で線香をいただいたことがあったが、堺の製品だったので来館。

*** 自転車博物館（担当：大橋・溝）**

- ・堺に帰省中の親子連れ。小学生の息子がどうしても来たいと言うので開館日を待ちかねてきました。また、飯田市のレース（TOJ）は毎年見に行っています。と話され、お父さんのお土産にとネクタイを購入された。
- ・年配のご夫婦。ご主人は昔の自転車の話を懐かしそうに話されていた。変速ギアのチェンジレバーのことや、自宅が豆腐屋”だったので運搬用の自転車で配達を手伝ったことなど話されていた。

広報部ニュース

*** 「堺から仏教を変えた行基さん」公開講演会を開催しました。**

2月20日14時から堺市総合福祉会館6階ホールにおいて公開講演会を開催致しました。一般のお客様181名、スタッフを含めた協会員109名、合計290名の参加でした。時間ギリギリまで楽しく興味深いお話が続き、お客様アンケートにも**大変満足した**・**満足した**の回答を頂きました。皆様ありがとうございました。（協会ニュース3月号トップページに記事あり）

ビデオが出来ましたらお知らせします。

第1部：講演 テーマ「堺から仏教を変えた行基さん」

第2部：パネルディスカッション テーマ「堺のど真ん中で行基を語る」



第2部：高次喜勝氏・近藤康司氏



手話通訳サービス

* ウエノビルの大型プロジェクターに紹介ビデオが流れています。

協会が入っているウエノビルですが、ビルの西側エレベーターの右に大きなプロジェクターが設置されています。ビルのテナントの紹介ビデオが映し出されていますので、観光ボランティア協会の映像も出てきます。オフィスに出入りする時、少しお時間取って見てください。

《インフォメーション》

* 語学同好会のご案内

「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録に向けての活動が進んでいます。

来堺される外国の方々に 外国語で堺のまちを紹介しましょう。

会の名称	開催日			開催時間	開催場所
・英会話サークル	3月	14日	(木)	14:00	清学院 (※制服・名札を着用)
・韓国語同好会	3月	7日	(木)	10:00	堺市立国際交流プラザ 6階会議室
・中国語同好会	3月	14日	(木)	9:45	堺市立国際交流プラザ 6階大会議室

※ 上記サークルに参加希望の当協会員は、直接、会場で申し込みください。

新入会の皆さんも、奮って参加して下さい。

《ガイド便利MEMO》

◆ 施設の3月の休館日(休園日)について

・山口家住宅・清学院	(休館：毎週火曜日)	5日・12日・19日・26日
・堺アルフォンス ミュシャ館	(休館：毎週月曜日)	4日～8日・11日・18日・22日・25日
・日本庭園	(休館：毎週月曜日)	4日・11日・18日・25日
・堺市博物館・伸庵	(休館：毎週月曜日)	4日・11日・18日・25日
※ VRツアー・古墳シアターは、月曜日 観覧できます。(※ 第1月曜日は、休み)		
・自転車博物館	(休館：毎週月曜日)	4日・11日・18日・25日
・堺伝統産業会館	無 休	
・さかい利品の杜	(休館：毎月第3火曜日) 19日	※ 観光案内展示室は、無休。

◇ J：COM堺「堺シティレポ」3月の放送予定

堺市広報課より2月のJ：COM堺の「堺シティレポ」放送予定が入りました。放送された場所に行く方法や概要など、問い合わせがあるかも知れませんので、注意して見ておいて下さい。

『J : COM堺 11 チャンネル 15 時 00 分～15 時 15 分、22 時 15 分～22 時 30 分』

※ 特別番組などで放送時間・内容を変更・休止する場合があります。

過去の番組は、市ホームページでもご覧になれます。(一部を除く)。

《平成 31 年 3 月分》

放 送 日	番 組 名
2 月 23 日 (土) ～ 3 月 1 日 (金)	いつでも安全・安心 堺の水 (5)
2 日 (土) ～ 8 日 (金)	障害のある人もない人も理解しあえる社会へ (1)
9 日 (土) ～ 15 日 (金)	子育て応援のまち堺で安心して楽しく子育てを (1)
16 日 (土) ～ 22 日 (金)	古代のロマンにふれる百舌鳥古墳群 (4)
23 日 (土) ～ 29 日 (金)	堺のまちに新しい文化を ～2019 年秋グランドオープン「フェニーチェ堺」～ (4)
30 日 (土) ～ 4 月 5 日 (金)	国内外から選ばれるまちへ～平成 31 年度当初予算～(1)

※ 最新の番組名は、堺市ホームページ内「堺シティレポ」のページをご覧ください。

http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_koho/catv.html

★ 平成 31-1 月度 ガイド実施報告 (敬称略)

※ 総件数 20 件 / 案内人数 221 人 / 担当ガイド 21 人

ご 案 内						
日	曜	お客様	人数	時間	場 所	派遣ガイド
※ ご案内の様子						
7	月	堺観光コンベンション協会 講演	20 名	9:00 13:30	阪急グランドホテル 3 OF	川上浩
		・ 第一回「仁徳天皇陵古墳の謎に迫る」のタイトルで、世界遺産と百舌鳥古市古墳群の解説と VR 体験ツアー、質問の三部構成を 90 分実施。VR 体験ツアーのの興味箇所は、テーマとして当たり前ですが、古墳でした。				
9	水	樋口様 (大阪、奈良の方)	2 名	13:00 15:30	清学院 鉄砲鍛冶屋敷 水野鍛錬所 山口家	谷崎
		・ 時間のゆとりがあったので、七まちをゆっくり散策。水野鍛錬所では火入れ式を見せて頂きとても喜んでおられました。				
10	木	JR 春のふれあいハイキング	1 名	10:00 12:30	大塚山古墳跡 履中陵 履中陵ビュー 大仙公園 仁徳陵(東回り) みくにん広場	國領 浅倉
		・ 4 月 20 日催行予定ガイドの下見。催行日には、もっと時間を取るのでは各古墳でゆっくり案内出来、関連性も分かって興味を持ってもらえると思いました。				
11	金	東西私鉄 11 社 監査役スタッフ連絡会	17 名	9:30 12:10	展望ビル 仁徳陵 履中陵 南宗寺 利晶の杜	野澤
		・ 監査役室のスタッフの皆さん。若手の方ばかりで、移動がスムーズにいき、礼儀正しく真剣に勉強して頂きました。爽やかな印象でした。				
		堺フィルムコミッション 実行委員会	2 名	9:00 13:30	展望ビル 山之口商店街 大小路交差点 菅原神社 本願寺堺別院 薫主堂	川上浩
		・ NHK 人気番組企画の為の事前取材に同行。番組の趣旨に合うような見どころと話題を選んでガイド。実現はすると思います。				
13	日	1 月の自転車ツアー 初詣ツアー	3 名	9:00 12:00	神明神社 月洲 田守 高須 伝産会館 菅原 開口 宿院頓宮 船待 石津太 石津 百舌鳥八幡 方違神社	中村博
		・ 今回、常連の方 2 名と観ボラ新人の女性の参加でした。12 カ所の初詣を無事に済ませました。				

18	金	堺市 ユースサポートセンター	11 名	14:00 16:10	向泉寺閼伽井 反正陵 鈴山/天王古墳 方違神社 旧天王貯水池	井藤
		・去年は開口神社、今年は方違神社。歩くのが苦手な方もおりましたが、頑張って歩き、無事初もうでをすませました。				
		ナルク奈良	19 名	10:00 12:30	百舌鳥八幡 高林家 御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵 大仙公園内古墳	國領
		・毎月各地をウォーキングされている奈良のグループの皆さん。古墳に特別興味を持たれている訳ではありませんでしたが、終了近くになると質問をされる方が多くあられ、興味を持たれた様子でした。				
19	土	花紀行	19 名	10:00 16:30	大鳥大社 松井泉 博物館/VR 伸庵 仁徳陵 もず庵	呉竹
		・常連客の正式参拝はこれが4度目。大鳥大社で祢宜さんの案内付きでした。松井泉のアナゴ三昧御膳は食べきれず、お土産でお持ち帰りプラス特製穴子三色寿司も完売。VRの前にライオンズクラブ寄贈の模型の前で300m上空の視点からの仁徳陵を体感してもらいました。伸庵ではお代わりをする方も。				
20	日	史好会 第380回	7 名	10:00 16:00	大塚山古墳跡 かぶと塚古墳 履中陵 乳岡古墳 大鳥大社 塔塚古墳	瀬島
		・まず最初に大塚山古墳跡に行き、後円部の濠の跡が円形で住宅街の道路になっているのを案内しました。くびれ部跡にあたる児童公園で説明。午前中は小雨が降っていたので、弁当の場所を探し、乳岡古墳の西側の石津公園の屋根付きベンチで食事が出来ました。				
		Angeltip	7 名	8:50 13:00	本願寺堺別院 寺町 山口家 薫主堂 イオン鉄砲町	川上浩
		・全国から集合した女性の皆様。宿泊地「堺の間・錦」にお迎え。古い町並みを選んで散歩。薫主堂では工房に入り、線香製造を見学。イタメシの元祖、華婦里蝶座の、へーという歴史などを話しながら昼食。				
21	月	名鉄姫路 入ヶ池郷土地改良区	10 名	11:00 14:20	利晶の杜 利休屋敷跡 サンプラザ 展望ロビー	辻中
		・少し遅れて到着の為、心配しました。男性ばかりで、ゆっくりと歩きながらお話しをして、楽しんでいかれました。前日のお土産話をいっぱいして頂きました。(前日、和歌山、道成寺、白浜)				
23	水	松阪市観光協会	3 名	10:30 17:30	利晶の杜 利休屋敷跡 仁徳陵/VR 南宗寺 妙國寺 展望ロビー 方違神社 江久庵	呉竹
		・さかい利晶の杜の「堺待庵見学後、無一庵での本格的なお茶がとても素敵だった」から始まり、梅の花の湯豆腐は絶品。拝所からの荘厳な姿、1/250のミニチュアでは目線が300m上空からの建設当初の姿に目を見張り、VR体験ツアーも質問が多く飛び出し大満足。各所で感激され、展望ロビーからの夕日を見て、「帰りたくない!」と堺ファンが増えました。				
25	金	田辺観光バス 豊秋津神社敬神婦人会	13 名	10:25 16:00	日本庭園 博物館 仁徳陵 H青雲荘 南宗寺 展望ロビー 伝産会館	小川正
		・おなじみの田辺観光バスの企画ツアーでした。日本庭園ではポンプ修理中で上流の流れが止まっているというハプニングもありましたが、その他のポイントでは楽しんで頂けたと思います。				
26	土	SS倶楽部 講演	45 名	10:00 11:30	堺市総合福祉会館	川上浩
		・「知れば知るほど面白いまち、堺」が題名の講演。時節柄、古墳の話で50分。あとは、浜寺公園、竹内街道、線香、銀座などの話題で40分話させて頂きました。				
27	日	JR百舌鳥古墳群めぐり	5 名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵 平成の森 大仙公園内古墳 仁徳陵	山下昇
		・やや寒かったが、風もなく歩くには適した一日でした。みなさん穏やかな年配の方たちで、和やかな古墳めぐりでした。				

		阪急交通社 「川上浩さんと歩く仁徳天皇陵古墳に迫る！」	10名	13:30 16:30	博物館/VR 伸庵 仁徳陵（西回り） みくにん広場	川上浩
		・古墳に興味のある皆さまが集合。以前にお会いした方も数名。イヤホンマイクで歩きながら色んなことを話しました。質問もあり、楽しんで頂けたようです。				
28	月	ワールドツアーシステム 「こぶしの会」	18名	9:00 14:00	利晶の杜 展望ロビー 仁徳陵 大寺餅 妙國寺	小出
		・皆さん熱心に話を聞いて頂き、堺の歴史文化の素晴らしさを楽しんで下さいました。				
30	水	三進金属工業	9名	15:00 16:25	府大植物工場	永田
		・日本のメーカーが韓国の企業を招待するので、案内は韓国語で。植物の育成には風も必要という点に強く関心を持たれた様子。でもモヤンを作っているのに風は必要？との突込みも。				

◆ 平成31年1月度 堺市博物館での『仁徳天皇陵古墳 VR（VR体験ツアー）』

担当ガイドとお客様数 ※ 総件数 25件 / 案内人数 771人 / 担当ガイド 20人

日・曜	5/土	6/日	8/火	9/水	10/木	11/金	12/土	13/日	14/月	15/火
ガイド氏名	川上浩	小川正	川上由	野澤	藤井安	中村博	宮尾 川上由	山下昇	小川正	藤井安
お客様	65名	51名	27名	7名	10名	9名	32名	96名	67名	23名
日・曜	17/木	18/金	19/土	20/日	21/月	22/火	23/水	24/木	25/金	26/土
ガイド氏名	藤井安	森口	川上浩	川上由	土井	柿澤	奥野	山田豊	土井	中村博
お客様	12名	8名	63名	35名	9名	8名	18名	34名	20名	36名
日・曜	27/日	28/月	29/火	30/水	31/木					
ガイド氏名	川上由	木村義	中村博	山田豊	寺口					
お客様	55名	8名	52名	15名	11名					

【一言】

- ・仙台からのお客様、月曜で博物館が閉館で残念と思ったがVRはしていると聞いて来た。「来てみて良かった、また堺へ来たい」と。
- ・山口からの方、古墳が好きで、レンタサイクルで百舌鳥古墳群の6大古墳をすべて見て廻り「VRも見られて良かった」と喜んで笑顔で帰られたと受付の方から聞きました。
- ・3連休最終日ということで家族連れが多かった。

★ 1月の市役所展望ロビーでの小学校社会見学（3年生）

- ・1月22日（火）野田小学校 / 生徒117名 / 担当ガイド4名
生徒さんから多くの質問があり、古墳に興味を持つ子供たちが増えている感じがしました。

《 あ・ら・かると 》

* ガイドの豆知識 6

【山田 武彦】

「堺へ来て大きく花開き、堺の文化に貢献した人達」

武野紹鷗や千利休が活躍していた時代は、日本は戦国時代と言われていて、全国各地で戦いの絶え間がなかった。そんな時代の“堺”は濠にかこまれ、中立、自由自治都市であることは知られているとおりである。三浦周行氏はその著「大阪と堺」の中で「砂漠のオアシス目がけて、求めて得難き無上の楽土と、貴賤僧俗、老若男女の、我も我もとここに殺到するものの年ごとに増して繁栄をきわめたのは当然の成行きであった。」と書いておられます。

それでは具体的にどのような人達がこの“堺”を目指してきたのであろうか、三浦氏は続ける。「京都の公家も下向すれば、学者も歌人も入り込み、武士も僧侶も、商人も芸人も、あらゆる分野の人々がいる。例えば、京都を追われた寺院、キリスト教徒とあり、その中には、出家では一休、蓮如、沢庵、武家では長慶、医師では曲直瀬（まなせ）道三、文人では肖伯、（父の代ではあるが）紹鷗等、いずれも皆この楽天地“堺”へ来て“堺”に育まれて大をなした人たちである。」

下記についても、お馴染みの人達と思いますが、この人達の足跡を訪ねて回るのもガイドとして面白いと思います。

- 一休宗純（1394～1481） 後小松天皇の皇子 堺・住吉にしばしば来遊、堺の尾和宗臨が帰依 大徳寺方丈、真珠菴他を建立。
- 蓮如兼寿（1415～1499） 文明年中堺に来て檜木屋道頭の帰依を受け信証院（西本願寺堺別院）を建立。
- 沢庵宗彭（1573～1646） 大徳寺・南宗寺の住持 大阪夏の陣後、南宗寺を現寺域に再建。
- 三好長慶（1522～1564） 管領細川晴元の代官として堺を支配、のち晴元を退けて畿内を平定。南宗寺を創建。連歌よくするなど、教養があった。
- 曲直瀬道三（1507～1594） 織豊期の医者、京都の人、正親町天皇、將軍足利義輝、織田信長、豊臣秀吉等から重用された。近代医学の祖といわれる。
- 牡丹花肖柏（1443～1527） 連歌師、古今集の伝授を受けた。豪商紅屋の援助を受け堺に住み、多くの門人が居た。
- フランシスコ・ザビエル（1506～1552） 日本におけるキリスト教の開山、日本での2年4ヶ月の間にキリスト教の礎石を据えた。
- 武野紹鷗（1502～1555） 村田珠光、鳥居引拙につぐ茶の湯の名人といわれている。堺流茶道の開祖とも見なされ、利休の先生。

以上のような人達に刺激を受け、また触発され、堺の町人達は文化的事業を展開する（例えば千利休、津田宗及）ことが出来たのかも知れません。

さらに武家の育ちでもないのに大名になった小西行長等、生粋の堺人の活躍について、思いを馳せていきたいと考えています。

参考文献 大阪と堺 三浦周行 岩波文庫

《 トピックス 》

* 喜光寺を訪ねて

【田辺 謙二】

1月末に奈良市菅原町の喜光寺をお訪ねしました。2月20日に「行基さんを語る」をテーマに開かれる公開講演会が企画されているため、行基菩薩終焉の地である喜光寺の雰囲気事前に味わいたい、との思いからでした。しかも、その喜光寺副住職様からご講演を頂けるとのことです。

近鉄橿原線尼ヶ辻駅より北西へ徒歩10分ほど、途中道すがらに垂仁天皇の前方後円墳が鎮座している、のどかな田舎町という印象でしたが、寺院の直ぐ南に高速自動車が走っていたのは少し意外でした。

阿形像、吽形像を下層両側に据えた朱塗り重層の南大門は平成22年に復興されたものだそうですが、真新しさ故か華やかに見えました。

そして、門を通過して真正面に本堂が毅然として建っているのですが、かつて行基菩薩が東大寺を造営するに当たって喜光寺の本堂を参考にしたという言い伝えから、「試みの大仏殿」と呼ばれていたのに相応しく実に荘厳な建築物（重要文化財）であり、その本堂内には、脇侍として観音菩薩と勢至菩薩を従えた阿弥陀如来像（重要文化財）がご本尊として穏やかな笑みを浮かべており、ホッと一息つける安堵感を覚えたものです。



喜光寺は、色とりどりの蓮の花が200を越える鉢の中に鑑賞できることでも有名ですが、それは夏の時期に限ったことです。今は冬、少々残念に思いながら眼を転じますと、鉢群の東に歌碑が建っているのに気づきました。凝視すると、なんと私の故郷新潟の出身の歌人：會津八一の歌でした。「ひとりきて かなしむてらの しろかべに 汽車のひびきの ゆきかえりつつ」 大正後年に喜光寺に立寄った八一が、お寺の荒廃ぶりを嘆いた歌だそうです。その嘆きが今の喜光寺の復興に生かされているかと思えますと、故郷の歌人の尽力を誇らしく思いました。

そして鉢たちの南側には、2月の公開講演会のポスターにあった「行基堂」があり、その中にゆったりと座っている行基菩薩とその背景の無数の菩薩像があったのです。間近に見た行基菩薩像に、堺とのゆかりからでしょうか、深い親近感を覚えまし、同時にそのお顔に49の寺院や池や橋など後半生を只管（ひたすら）社会事業に捧げられたご苦勞を偲ばせていただきました。

公開講演会を成功させること、また「夏には綺麗な蓮の花を見せいただくために再度お訪ねしますよ。」と誓って、喜光寺を辞しました。尚、副住職様にはその時お会いできなかったのですが、講演会にてまるで行基菩薩のようなエネルギーなお話し振りにパワーを頂きました。感謝です。



☆ 平成31年3月度 月間予定表

日	曜	行 事	時 間	場 所
2	土	「三好長慶公武者行列 in 大東」	10:00	いいもりぷらざ(大東市野崎)
4	月	年次リーダー会	10:00	堺市総合福祉会館
		理事会	13:20	堺市総合福祉会館 第3会議室
		運営委員会	14:00	堺市総合福祉会館 第3会議室
5	火	定点ガイド部 Aグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		全体研修会「百舌鳥古墳群の魅力を語る」	14:00	堺市博物館 地下ホール
6	水	定点ガイド部 Cグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		「堺伝統産業会館連絡会議」	14:00	堺伝統産業会館
7	木	定点ガイド部 Bグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		「堺新発見ツアー」 〔第28回 郷土が生んだ奈良時代の高僧 行基の足跡を辿るシリーズ 第2弾〕	10:00	集合：泉北高速深井駅 改札口前
8	金	企画部会議（見学可）	10:00	堺市総合福祉会館 研修室
10	日	「3月の自転車ツアー」〔ひな巡りツアー〕	9:00	集合：南海本線堺駅観光案内所
11	月	J A「CROP」取材（東区日置荘西町）	9:30	集合：南海高野線初芝駅
		「さかい利晶の杜 定例調整会議」	16:00	さかい利晶の杜
12	火	定点ガイド部 全体会議（見学可）	9:30	堺市総合福祉会館
		研修部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館
13	水	「自転車博物館勉強会」	10:00	自転車博物館
14	木	ツアーガイド部会議（見学可）	13:30	堺市総合福祉会館
15	金	春季文化財特別公開「責任者会議」	10:00	堺市総合福祉会館 第1会議室
		事業部会議（見学可）	14:00	山之口商店街プラザ
		＜協会ニュース3月号＞原稿締切り		＜広報部＞
18	月	広報部会議（見学可）	14:00	堺総合福祉会館
		「広域連携歴史探訪GW実行委員会」	13:30	大阪狭山市市民活動支援センター
19	火	「町家歴史館勉強会」（午前の部）	10:00	山口家住宅
		「堺観光情報連絡会」	10:30	堺市役所2階
		「町家歴史館勉強会」（午後の部）	14:00	山口家住宅
		J A「CROP」編集会議（東区日置荘西町）	14:00	山之口商店街プラザ
20	水	全体研修会「百舌鳥古墳群の魅力を語る」	14:00	堺市博物館 地下ホール
23	土	「大阪信用金庫100周年記念チャリティウォーク」	9:00	各スタート箇所
25	月	＜協会ニュース3月号＞発行作業	9:45	観ボラ オフィス
		さかい利晶の杜「定例運営会議」	13:30	さかい利晶の杜
26	火	定例部長会議	9:30	堺市総合福祉会館 第3会議室
28	木	春季特別公開用の金銭・準備品などの支給	13:30	観ボラ オフィス
29	金	《春季文化財特別公開》	9:30	＜公開各箇所＞
30	土			
31	日			

【予告】

・春季文化財特別公開「報告会」

4月19日（金）10:00

平成31年 1月度 活動実績と内容

<会員の活動実績>

正 会 員 数	247 名
当 月 全 休 会 員 数	14 名
会 員 活 動 参 加 数	233 名

定点案内所	定 点 案 内 所	920 名
	事 務 局 ・ ガ イ ド 事 務	165 名
	展 望 ロ ビ ー ・ 学 童 ガ イ ド	4 名
ガ イ ド 活 動 小 計		1,089 名
ツ ア ー ガ イ ド		71 名
その他	会 議 ・ 研 修 会 ・ 勉 強 会	109 名
	イ ベ ン ト	185 名
	打 合 せ ほ か	302 名
会 員 活 動 合 計		1,756 名

月/日	そ の 他 活 動 の 主 な 内 容	活動人員
1/ 7	運営会議 於: 総合福祉会館	30 名
8~24	平成31年 新年会の準備ほか	47 名
15	観光情報連絡会 於: 市役所	5 名
16	平成31年 当協会の新年祝賀会 (来賓: 11名)	185 名
22	会員交流会(高槻市周辺)	22 名
29	勉強会(阪堺電車)	18 名
29	協会の部長会議 (正副理事長と各部長)	12 名

<来客数実績>

定 点 案 内 所 ガ イ ド	(件数)
堺 駅 観 光 案 内 所	61 名
市 役 所 展 望 ロ ビ ー	
一 般	1,736 名
学 童 ・ 先 生	117 名
大 仙 拝 所 前	2,517 名
南 宗 寺	433 名
山 口 家	432 名
清 学 院	177 名
利 休 屋 敷 跡	1,484 名
妙 國 寺	227 名
自 転 車 博 物 館	169 名
伝 統 産 業 会 館	558 名
利 晶 の 杜	1,432 名

ツ ア ー 観 光 ガ イ ド		
ツ ア ー 観 光 ガ イ ド	992 名	46
ミ ニ ツ ア ー ガ イ ド	堺 駅 観 光 案 内 所	9 名
	市 役 所 展 望 ロ ビ ー	2 名
	大 仙 公 園 観 光 案 内 所	21 名
特 別 公 開 な ど		
来 客 数 合 計	10,367 名	

当協会の創設(平成7年4月)以来の御案内人数累計	2,234 千名
--------------------------	----------

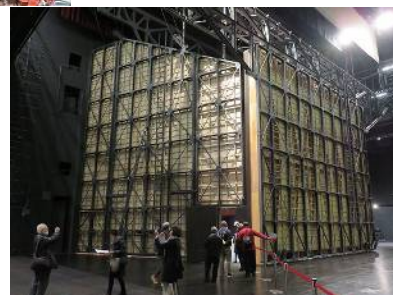
《写真ニュー

FENICE SACY
2019年10月
グランドオープン



大ホール
南大阪最大 2000席

大ホール・舞台裏



2月24日(日)
見学会於いて

編集後記

平成もあとわずかを残すのみとなりました。
平成の最後を飾る公開講演会として「行基生誕1350年」のタイトルで行基入寂のお寺として知られている奈良の喜光寺の高次副住職によるお話しがありません。
堺には世界文化遺産に推薦されている百舌鳥古墳群、千利休等のお宝がありますが、ご住職のお話を聞いていて、今一つ堺には、行基という日本の福祉の元祖というべき素晴らしい方がおられた事を知り、今後の観光ガイドでもっとPRするのを感じております。

生島 英造記